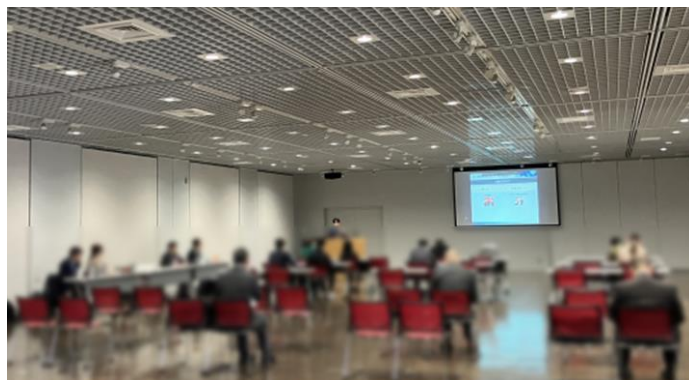


秋田県内在住の障がいのある方向け「自分らしい働き方発見セミナー」を開催

2025年10月21日（火）に秋田県内在住の障がいのある求職者に向けて「自分らしい働き方発見セミナー」を開催しました。本セミナーは、3部構成でおこなわれ、現地、オンライン、パブリックビューイングにてご参加いただきました。会場では就労意欲の高い、県内の特別支援学校高等部の団体参加もありました。今後もセミナーのアーカイブ配信を活用し、多くの方の視聴と認知拡大を見込んでおります。当日は、障がい者就労を考える方に向けて、基礎から学ぶことができるセミナーとなりました。

※本セミナーはアーカイブ配信をしております。詳細・申込方法は、レポートの後半でご案内しております。



（現地参加の様子）

第1部：多様な働き方の理解

一人ひとりの障害特性に応じた多様な働き方について理解を深めました。具体的には、一般就労や福祉的就労といった就労形態の違いや、通勤型就労だけでなく障がい者にも在宅型就労という選択肢があることが紹介され、それぞれの特徴やメリットについて学びました。

そのほかにも、就労に向けた準備として、自分自身の得意・不得意、支援の必要性、体調の状態などを整理し、自分の状況を客観的に見つめ直すことの重要性についての説明がありました。自分自身と向き合いながら就労目的を明確にすることが、就労準備の第一歩であり、自身の体調や障害の特性に応じて、“無理のない働き方を選択していくこと”の大切さを実感しました。

第2部：通勤型就労の事例紹介

株式会社スタッフサービス・クラウドワークの柴 宏幸様から、障がい者の通勤型就労の事例として、株式会社スタッフサービス・ビジネスサポートが紹介されました。「障がいの特性ではなく、個人としての得意不得意を洗い出し、チームとして協同すること。障害があるからできないではなく、何ができるかを考えることが重要」という言葉が印象的でした。実際に通勤型就労で活躍している従業員4名の働き方の紹介もあり、障害特性にあわせてどのような業務を行っているのか、彼らの就労への想いや感想にも触れました。

第3部：在宅型就労の事例紹介

障がい者の在宅型就労の事例として、株式会社スタッフサービス・クラウドワークが紹介されました。在宅型就労は、個人の合わせた最適な空間である自宅で安心安全に就労できることや、通勤に体力を奪われることがないため、能力を100%業務に発揮しやすいことが特徴だと分かりました。

その後、在宅型就労で働く3名の従業員と会場を実際にオンラインでつないで交流会をおこなわれ、在宅型就労ならではの工夫やポイントについて、実体験を交えて紹介いただきました。例えば、「プライベートと仕事のオンオフがあいまいになってしまうので、在宅でもメイクをする」、「画面上では体調を察してもらおうということが難しいので、体調不良の際にはしっかり声に出し、相手に伝える」など、在宅就労する従業員はさまざまな工夫をしていました。

質疑応答では、参加者から「在宅型就労での質問の仕方の工夫は？」という質問があり、「定例ミーティング、チャット機能を使うなどの工夫をしている」という回答がありました。



(在宅型勤務の従業員との交流の様子)

今回のセミナーを通じて、参加者の方には多様な働き方について理解を深めるきっかけにつなげることができました。職場環境や周囲の理解も大切ですが、まずは、自分自身の状況を整理し、どのような働き方が自分に合っているかを考えることが、働き方を選ぶ第一歩であると感じました。

【講師】

株式会社スタッフサービス・クラウドワーク 柴 宏幸 様

【日時】

2025年10月21日(火) 13:00~15:00

【場所】

にぎわい交流館 AU 展示ホール

【アーカイブ配信について】

アーカイブ配信希望の方は、以下 URL（または二次元コード）にて「自分らしい働き方発見セミナー アーカイブ配信」にチェック または メールにてお申し込みください。

○URL <https://rec.fofa.jp/022/a.p/743/>

○二次元コード



○メールアドレス akita-ouenpjt@staffservice.ne.jp